

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-269386

(43)Date of publication of application : 20.09.2002

(51)Int.Cl. G06F 17/60
G06T 1/00
H04N 1/387

(21)Application number : 2001-062675

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 06.03.2001

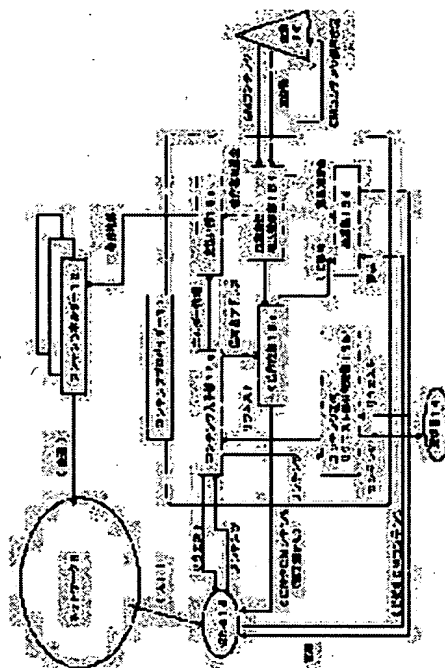
(72)Inventor : MORII TOSHIYUKI

(54) SOFTWARE USAGE MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a software management system capable of developing the use of contents and protecting a contents holder having a copyright at the same time.

SOLUTION: An open electronic bulletin board for disclosing personal contents to a third person and mediating transfer of the disclosed contents to the third person is opened on a network, and via an electronic mail communication with a manager managing the electronic bulletin board, the contents owner communicates with the third person. When a request for transfer of the contents disclosed on the electronic bulletin board is made from the third person, the manager obtains the contents from the owner, passes the contents to the third person, passes a prize raffle carrying an advertisement to the owner of the contents, and passes a copyright fee to the contents holder. As a foundation of the prize and the copyright fee, an advertisement income from the advertisement attached to the prize raffle is used.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-269386

(P2002-269386A)

(43) 公開日 平成14年9月20日 (2002.9.20)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

3 1 4

Z E C

3 0 2

3 1 8

3 2 4

F I

G 0 6 F 17/60

テーマコード* (参考)

3 1 4

5 B 0 5 7

Z E C

5 C 0 7 6

3 0 2 E

3 1 8 G

3 2 4

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願2001-62675 (P2001-62675)

(22) 出願日

平成13年3月6日 (2001.3.6)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 森井 利幸

神奈川県川崎市多摩区東三田3丁目10番1号 松下技研株式会社内

(74) 代理人 100082692

弁理士 蔵合 正博 (外1名)

Fターム(参考) 5B057 CB19 CE08

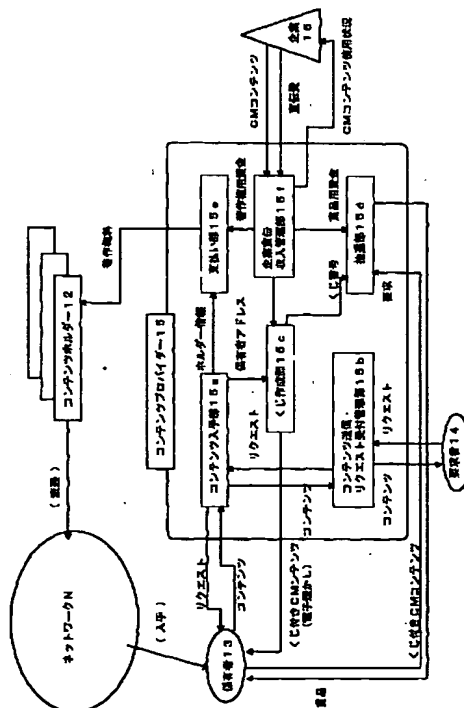
5C076 AA14 BA06

(54) 【発明の名称】 ソフトウェア利用管理システム

(57) 【要約】

【課題】 コンテンツの利用拡大を図るとともに著作権を持つコンテンツホルダーの保護等が図れるソフトウェア管理システムを提供する。

【解決手段】 個人が保有するコンテンツを第三者に公開し、公開されたコンテンツの譲渡を第三者に仲介するためのオープンな電子掲示板をネットワーク上に開設し、電子掲示板を管理する管理者と電子メールを介して、コンテンツの保有者と第三者とのコミュニケーションを図る。電子掲示板で公開されたコンテンツの譲渡のリクエストが第三者からあると、管理者が保有者からコンテンツを入手し、前記第三者には前記コンテンツ、前記コンテンツの保有者には広告を入れた賞品付きのくじ、前記コンテンツホルダーには著作権料をそれぞれ渡す。また、その賞品及び著作権料の資金として、賞品付きのくじに添付される企業の広告で得られる宣伝費収入を充てるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人が保有するコンテンツを第三者に公開し、公開されたコンテンツの譲渡を第三者に仲介するための電子掲示板をネットワーク上に開設し、前記電子掲示板を管理する管理者の電子メールを仲介させて前記コンテンツの保有者と前記第三者とのコミュニケーションを図る公開手段と、

前記電子掲示板上に公開された前記コンテンツの譲渡時に、予め申し込みを受け付けた企業の広告を前記管理者の管理下で前記電子メールに添付する広告挿入手段と、前記電子掲示板上で公開された前記コンテンツの譲渡のリクエストが第三者から得られると前記管理者が前記保有者から前記コンテンツを入手し、前記第三者には前記コンテンツ、前記コンテンツの保有者には賞品付きのくじをそれぞれ渡す処理手段とを備え、

前記くじの賞品の資金として前記コンテンツに添付される広告に支払われる前記企業の宣伝費を用いるようにしたことを特徴とするソフトウェア利用管理システム。

【請求項2】 前記賞品付きのくじを電子メールで送付し、前記くじ内に前記企業広告を挿入するようにしたことを特徴とする請求項1記載のソフトウェア利用管理システム。

【請求項3】 前記くじ内に偽造防止用の電子透かしを挿入するようにしたことを特徴とする請求項2記載のソフトウェア利用管理システム。

【請求項4】 前記くじの抽選結果を前記ネットワーク上で公開するようにしたことを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載のソフトウェア利用管理システム。

【請求項5】 個人が保有するコンテンツを第三者に公開し、公開されたコンテンツの譲渡を第三者に仲介するための電子掲示板をネットワーク上に開設し、前記電子掲示板を管理する管理者の電子メールを知勇会させて前記コンテンツの保有者と前記第三者とのコミュニケーションを図る公開手段と、

前記電子掲示板上に公開された前記コンテンツの譲渡時に、予め申し込みを受け付けた企業の広告を前記管理者の管理下で前記電子メールに添付する広告挿入手段と、前記電子掲示板上で公開された前記コンテンツの譲渡のリクエストが第三者から得られると保有者から前記コンテンツを入手し、前記第三者には前記コンテンツ、前記コンテンツの保有者には賞品付きのくじ、前記コンテンツホルダーには著作権料をそれぞれ渡す処理手段とを備え、

前記くじの賞品及び前記著作権料の資金として前記コンテンツに添付される広告に支払われる前記企業の宣伝費を用いるようにしたことを特徴とするソフトウェア利用管理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、個人等が保有する

コンテンツの公開を積極的に行わせて、コンテンツの有効利用の拡大を図ることができるソフトウェア利用管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネットが急速に普及し、データの交換を始め、ソフトウェア等のコンテンツの交換も積極的に行われている。こうした中で、現在注目されているのが、「Napster」というソフトを使用した、コンテンツの利用である。「Napster」は、米国のNapster社が開発したシステムであり、ユーザー同士がMP3 (MPEG Audio Layer 3) ファイルを共有するためのソフトで、図3に示すようなシステムになっている。すなわち、Napster社の親となるserver.napster.com (以下、「Napsterサーバー」という) と接続したユーザーが、自分の持っている曲を中央のNapsterサーバーに公開する。ここで公開される情報は「アーティスト名」、「タイトル」、「ファイルサイズ」、「接続速度」、「所有しているユーザー名 (クライアント端末位置情報)」、「共有 (交換) 条件」等である。ユーザー (以下、「クライアント」という) は、パソコン (パーソナルコンピュータ) に予め組み込まれている「Napster」というソフトを立ち上げると、中央のNapsterサーバーに自動的に接続され、その公開された情報を閲覧することができる。その公開された情報を見たクライアントAは、探している曲がクライアントBが所有していると分かると、中央のNapsterサーバーを介することなく、そのNapsterサーバーに公開されていたクライアント端末位置情報、例えば電子メールアドレスまたURL (Universal Resource Locator) の場所へ行き、クライアントBと曲の交換を直接行うシステムになっている。したがって、中央のNapsterサーバーは仲介役のようなもので、直接の交換は別のルート、すなわち管理サーバーを使わずに、そのときインターネットに接続しているクライアント同士で直接、データの交換を行う。この方法はピア・ツー・ピア (peer to peer) とも呼ばれている。今後は、このように曲の交換を目的としたものに限ることなく、この種のネットワーク上に作られた電子掲示板を仲介として、各種コンテンツの交換等を目的とした利用形態が考えられる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上述したピア・ツー・ピアを利用したコンテンツのやり取りでは、著作権が存在するコンテンツにおいて著作権の問題が発生する。すなわち、通常の有料コンテンツ配信サービス等の企業対個人のサービスでは、料金を徴収した企業からコンテンツホルダーに著作権料が支払われるが、ピア・ツー・ピアでは、あくまで個人間のデータのやり取りなので、コンテンツホルダーに著作権料が支払われることはない。また、ピア・ツー・ピアを取り締まることも不可能に近いのが現実である。

【0004】しかしながら、このピア・ツー・ピアのシステムで、コンテンツを探しているクライアントAにとっては、そのネットワーク上に作られた電子掲示板の場所にアクセスし、その中から探せば簡単に見つかり、またコンテンツを所有しているクライアントBに電子メール等で連絡をとれば直ぐに入手できるという利点はある。したがって、今後は、ピア・ツー・ピアの普及に貢献ができるとともに、コンテンツホルダーの保護も図れるソフトウェアの管理システムが望まれる。

【0005】本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、その目的は個人等が保有するコンテンツの公開を積極的行わせて、コンテンツの有効利用の拡大を図ることができるソフトウェア管理システムを提供するものである。

【0006】また、本発明の目的は、コンテンツの利用拡大と同時に著作権を持つコンテンツホルダーを保護することができるソフトウェア管理システムを提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明のソフトウェア管理システムは、個人が保有するコンテンツを第三者に公開し、公開されたコンテンツの譲渡を第三者に仲介するための電子掲示板をネットワーク上に開設し、前記電子掲示板を管理する管理者の電子メールを仲介させて前記コンテンツの保有者と前記第三者とのコミュニケーションを図る公開手段と、前記電子掲示板に公開された前記コンテンツの譲渡時に、予め申し込みを受け付けた企業の広告を前記管理者の管理下で前記電子メールに添付する広告挿入手段と、前記電子掲示板で公開された前記コンテンツの譲渡のリクエストが第三者から得られると前記管理者が前記保有者から前記コンテンツを入手し、前記第三者には前記コンテンツ、前記コンテンツの保有者には賞品付きのくじをそれぞれ渡す処理手段とを備え、前記くじの賞品の資金として前記コンテンツに添付される広告に支払われる前記企業の宣伝費を用いるようにしたものである。これによれば、コンテンツの保有者はその公開したコンテンツに第三者からリクエストがあつて譲渡すればくじが渡され、賞品がもらえるチャンスが生まれる。したがって、保有者には優れたコンテンツをより多く公開しようとする気持が生まれ、公開の拡大が図れる。また、コンテンツを探している第三者にとっては、その電子掲示板の場所にアクセスすれば豊富なリストの中から必要とするコンテンツを簡単に見つけることができ、見つかった場合は保有者に管理者を介して連絡をとれば入手することができるので、必要とするコンテンツを簡単、かつタイムリーに取得することができる。さらに、企業では、資金提供の見返りとして宣伝効果が得られ、管理者には企業が支払った宣伝費の中から仲介料及び宣伝料等を得ることができる。

【0008】また、本発明のソフトウェア管理システム

は、前記賞品付きのくじを電子メールで送付し、前記くじ内に前記企業広告を挿入するようにしたものである。これによれば、保有者に対してくじを電子メールで簡単に送付することができ、さらにくじ内に企業広告を挿入しているので、くじを受け取った保有者は広告を見ることになり、宣伝効果が得られる。

【0009】また、本発明のソフトウェア管理システムは、前記くじ内に偽造防止用の電子透かしを挿入するようにしたものである。これによれば、悪意を持つものが偽造をしようとしても、電子透かしまで入れないとできないので、偽造を未然に防ぐことができる。

【0010】また、本発明のソフトウェア管理システムは、前記くじの抽選結果を前記ネットワーク上で公開するようにしたものである。これによれば、くじを持つ保有者は、自分の目でくじの当たり外れを簡単に確認することができる。

【0011】また、本発明のソフトウェア管理システムは、個人が保有するコンテンツを第三者に公開し、公開されたコンテンツの譲渡を第三者に仲介するための電子掲示板をネットワーク上に開設し、前記電子掲示板を管理する管理者の電子メールを介して前記コンテンツの保有者と前記第三者とのコミュニケーションを図る公開手段と、前記電子掲示板に公開された前記コンテンツの譲渡時に、予め申し込みを受け付けた企業の広告を前記管理者の管理下で前記電子メールに添付する広告挿入手段と、前記電子掲示板で公開された前記コンテンツの譲渡のリクエストが第三者から得られると保有者から前記コンテンツを入手し、前記第三者には前記コンテンツ、前記コンテンツの保有者には賞品付きのくじ、前記コンテンツホルダーには著作権料をそれぞれ渡す処理手段とを備え、前記くじの賞品及び前記著作権料の資金として前記コンテンツに添付される広告に支払われる前記企業の宣伝費を用いるようにしたものである。これによれば、コンテンツの保有者はその公開したコンテンツに第三者からリクエストがあつて譲渡すればくじが渡され、賞品がもらえるチャンスが生まれる。したがって、保有者には優れたコンテンツをより多く公開しようとする気持が生まれ、公開の拡大が図れる。また、コンテンツを探している第三者にとっては、その電子掲示板の場所にアクセスすれば豊富なリストの中から必要とするコンテンツを簡単に見つけることができ、見つかった場合は保有者に管理者を介して連絡をとれば入手することができるので、必要とするコンテンツを簡単、かつタイムリーに取得することができる。さらに、著作権を持つコンテンツホルダーには著作権料が支払われ、著作権を保護することができる。しかも、その著作権料は、企業が出費する宣伝費でまかなうことができる。また、さらに企業では、資金提供の見返りとして宣伝効果が得られ、管理者には企業が支払った宣伝費の中から仲介料及び宣伝料等を得ることができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を用いて説明する。図1はソフトウェア管理システムの概略構成ブロック図である。図1に示すように、本発明のソフトウェア管理システムは、インターネット等のネットワーク11（以下、「インターネット11」という）と、著作権を持つコンテンツを発行する発行会社等のコンテンツホルダー12と、そのコンテンツを正規のルートで入手した保有者（個人）13と、コンテンツの入手を希望する要求者（個人）14と、コンテンツプロバイダー15と、要求者14がコンテンツホルダー12に支払う著作権料の肩代わり等をする企業16等で構成されている。

【0013】また、コンテンツプロバイダー15は、コンテンツ入手部15aと、コンテンツ送信・リクエスト受付部15b、くじ作成部15c、抽選部15d、支払い部15e、企業宣伝収入管理部15f等で構成されている。このコンテンツプロバイダー15では、このソフトウェア管理システムを利用する保有者13や要求者14等のために専用のソフトが用意され、これがインターネット11上のホームページあるいはCD-ROM等の媒体で配布され、保有者13及び要求者14として利用する者は、予め自分が使用するパーソナルコンピュータ等の端末に、その専用のソフトを組み込んでおく。利用に際して、そのソフトを立ち上げると、インターネット11上のコンテンツプロバイダー15に自動的に接続され、コンテンツプロバイダー15で管理される電子掲示板に公開されているコンテンツ情報を見たり、コンテンツの登録、コンテンツの送信、リクエスト要求等を行うことができる。

【0014】さらに詳述すると、コンテンツ入手部15aは、コンテンツプロバイダー15が有するホストコンピュータ（ウェブサーバー）上に開設したホームページを有し、このホームページ上に上記電子掲示板を開設し、この電子掲示板を通して保有者13とコンテンツプロバイダー15と要求者14のコミュニケーションが図られる。電子掲示板へのアクセスは、保有者13及び要求者14が管理者であるコンテンツプロバイダー15のURL (Universal Resource Locator) を指定することによって行われる。その電子掲示板には、保有者13が書き込むコーナーと要求者14が書き込むコーナーとが設けられており、保有者13は登録する保有者名、電子メールアドレス、コンテンツ名、バージョン、ファイルサイズ、提供条件のコメント等、コンテンツプロバイダー15側から指定される項目を入力する。すると、電子掲示板には保有者名と電子メールアドレスを除いて、保有者13が書き込んだ情報がリファレンス番号と共に掲示される。一方、要求者14が書き込むコーナーには、希望するコンテンツのリファレンス番号と電子メールアドレス等、コンテンツプロバイダー15側から指定

される項目があり、コンテンツの入手を希望する要求者14は、それらの項目を書き込むと登録される。なお、電子掲示板には、「このようなコンテンツを探しています」と言うような書き込みと、この書き込みに対してコンテンツの提供を申し出るようなコーナーも並設される。

【0015】コンテンツ送信・リクエスト受付部15bは、電子掲示板の各コーナーを管理するもので、保有者13が掲載したコンテンツに対してリクエストがあると、そのコンテンツの仲介を行う。仲介では、要求者14からリファレンス番号を指定としてリクエストがあるとそのリファレンス番号に対応するコンテンツを所有している保有者13からコンテンツSを電子メールで受け取り、これを要求者14に電子メールで送る。

【0016】くじ作成部15cでは、くじを発行して保有者13に電子メールで送る。くじの発行は、保有者13が所有するコンテンツに対して要求者14よりリクエストがあり、そのコンテンツを要求者14に提供した保有者13に対して行う。そのくじには抽選番号と、広告、すなわちCM（コマーシャル）コンテンツと、電子透かし等が挿入される。電子透かしは、そのくじの不正がないように区別するもので、視覚的にも見える状態にして保有者13に送付される。CMコンテンツは、このシステムを運用するのに必要な資金を提供した企業16であり、このCMコンテンツも視覚的に見える状態にしてくじ内に挿入されている。このくじを受けた保有者13は、定期的に行われる抽選に参加することができ、その抽選に当たった場合は申告することにより賞品等を受け取ることができる。

【0017】企業宣伝収入管理部15fでは、くじを発行するのに必要な資金や、要求者14がコンテンツホルダー12に支払うべき著作権料の肩代わりをしてくれるスポンサーとしての企業16の募集と、そのスポンサーとなった企業のCMコンテンツの管理及び資金の運用管理等を行う。すなわち、企業宣伝収入管理部15fでは、スポンサー等からの収入を、著作権料への支払いと抽選での賞品等に分けて管理し、またCMコンテンツを提供している企業16には定期的にCMコンテンツ使用状況を報告する。

【0018】抽選部15dでは、企業宣伝収入管理部15fで振り分けられた資金を基に、抽選方法、及び賞品等を決定し、また当選者への賞品の受け渡しを行う。

【0019】支払い部15eでは、企業宣伝収入管理部15fで振り分けられた資金を基に、著作権料をコンテンツホルダー12との間で話し合って決定し、保有者13が要求者14にコンテンツを提供したとき、本来、要求者14がコンテンツホルダー12に支払うべき著作権料を、要求者14の肩代わりをしてコンテンツホルダー12に支払う。

【0020】図2は本実施の形態における管理システム

の流れを示す動作シーケンス図である。図2のシーケンス図と共に図1に示した管理システムの動作を次に説明する。コンテンツプロバイダー15は、くじにCM、すなわち広告を載せる企業を予め、ネットワークN上のホームページ、あるいは新聞、雑誌等の媒体で予め募集する(101)。この募集に申し込んだ企業16はコンテンツプロバイダー15に宣伝費を支払うとともに、くじに挿入するCMコンテンツをコンテンツプロバイダー15に提供する(102)。ここで支払われた宣伝費及びCMコンテンツは企業宣伝収入管理部15fで管理され、またくじ作成部15c、抽選部15d及び支払い部15eと協議されて、賞品用資金の割り当て及び著作権料としての分配が決められる。

【0021】一方、コンテンツホルダー12から正規の手続き(流通)を経て入手したコンテンツSを所持する保有者13で、そのコンテンツSを他人にも提供(譲渡)したいと思う保有者13は、上述したようにコンテンツプロバイダー15が管理者として開設している電子掲示板に登録する。すると、これが電子掲示板で公開される(104, 105, 106)。この電子掲示板を見た人(要求者14)が、自分の探しているコンテンツSが見つかり、要求者14は上述したように電子掲示板を介してコンテンツSのリクエストをコンテンツプロバイダー15のコンテンツ送信・リクエスト受付部15bに行う(107)。

【0022】要求者14からのリクエストを受けたコンテンツ送信・リクエスト受付部15bは、保有者13にリクエストがあった旨を電子メールで通知し、コンテンツSの送付を要求する(108)。これに応じて、保有者13がコンテンツSをコンテンツプロバイダー15に電子メールで送ると(109)、コンテンツSを受け取ったコンテンツプロバイダー15では、くじ作成部15cでくじを作成して保有者13に電子メールで送る(110, 111)。そのくじには、抽選番号、商業コンテンツ、電子透かし、抽選日、賞品等が記載される(112)。このくじは、当選番号が抽選日にコンテンツプロバイダー15の指定されたホームページ上で公開される。これに当選した保有者14は、所定の期間内にコンテンツプロバイダー15と電子メールで受け取りを申し出ると、所定の賞品を受け取ることができる(113, 114)。

【0023】また、保有者13からのコンテンツSを受けると、コンテンツプロバイダー15は、要求者14にコンテンツSを電子メールで送るとともに、コンテンツホルダー12に著作権料を企業16からの広告料で支払う(115, 116)。

【0024】したがって、本実施の形態では、要求者14、保有者13、コンテンツプロバイダー15、コンテンツホルダー12にとって次に述べるようなバランスの取れた効果が得られる。

(1) コンテンツSを探しているクライアント(要求者14)にとっては、その電子掲示板の場所にアクセスすればコンテンツSを簡単に見つけることができる。また、見つかった場合は保有者13にコンテンツプロバイダー15を介して連絡をとれば入手することができるので、必要とするコンテンツを簡単、かつタイムリーに取得することができる。

(2) 保有者13には、公開したコンテンツにリクエストがあって、そのコンテンツを提供すればくじが渡され、賞品がもらえるチャンスが生まれる。これにより、保有者13は優れたコンテンツをより多く公開しようとする気持ちになり、公開の拡大が図れ、要求者14側にとって電子掲示板の利用価値がさらに増す。

(3) 企業には、資金提供の見返りとして宣伝効果が得られる。

(4) コンテンツホルダー12に対しては著作権料が支払われ、著作権を保護することができる。しかも、その著作権料は、企業が出費する宣伝費でまかなうことができる。

(5) また、コンテンツプロバイダー15では、企業16が支払った宣伝費の中から仲介料及び宣伝料等を得ることができる。

【0025】なお、上記実施の形態では、著作権が存在するコンテンツの譲渡について説明したが、著作権が存在しないコンテンツの譲渡にも同様に適用できるものである。この場合では、コンテンツホルダー12は存在せず、また著作権の発生もない。さらに、企業からのCMコンテンツはくじにだけ添付した場合について説明したが、コンテンツプロバイダー15が発送する全ての電子メールに添付するようにしても良いものである。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように、本発明はコンテンツを探している要求者と、コンテンツを提供しても良いというコンテンツの保有者と、コンテンツプロバイダー、著作権を持つコンテンツホルダー12にとって、バランスの良い効果が得られ、ソフトウェアの有効利用が図れるという優れた効果を有するソフトウェア利用管理システムを提供することができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態として示すソフトウェア管理システムの概略構成ブロック図

【図2】本実施の形態におけるソフトウェア管理システムの流れを示す動作シーケンス図

【図3】従来におけるソフトウェア管理システムの一例を示す概略構成図

【符号の説明】

- 11 ネットワーク
- 12 コンテンツホルダー
- 13 保有者
- 14 要求者

15 コンテンツプロバイダー

15a コンテンツ入手部

15b コンテンツ送信・リクエスト受付部

15c くじ作成部

15d 抽選部

15e 支払い部

15f 企業宣伝収入管理部

16 企業

【図1】

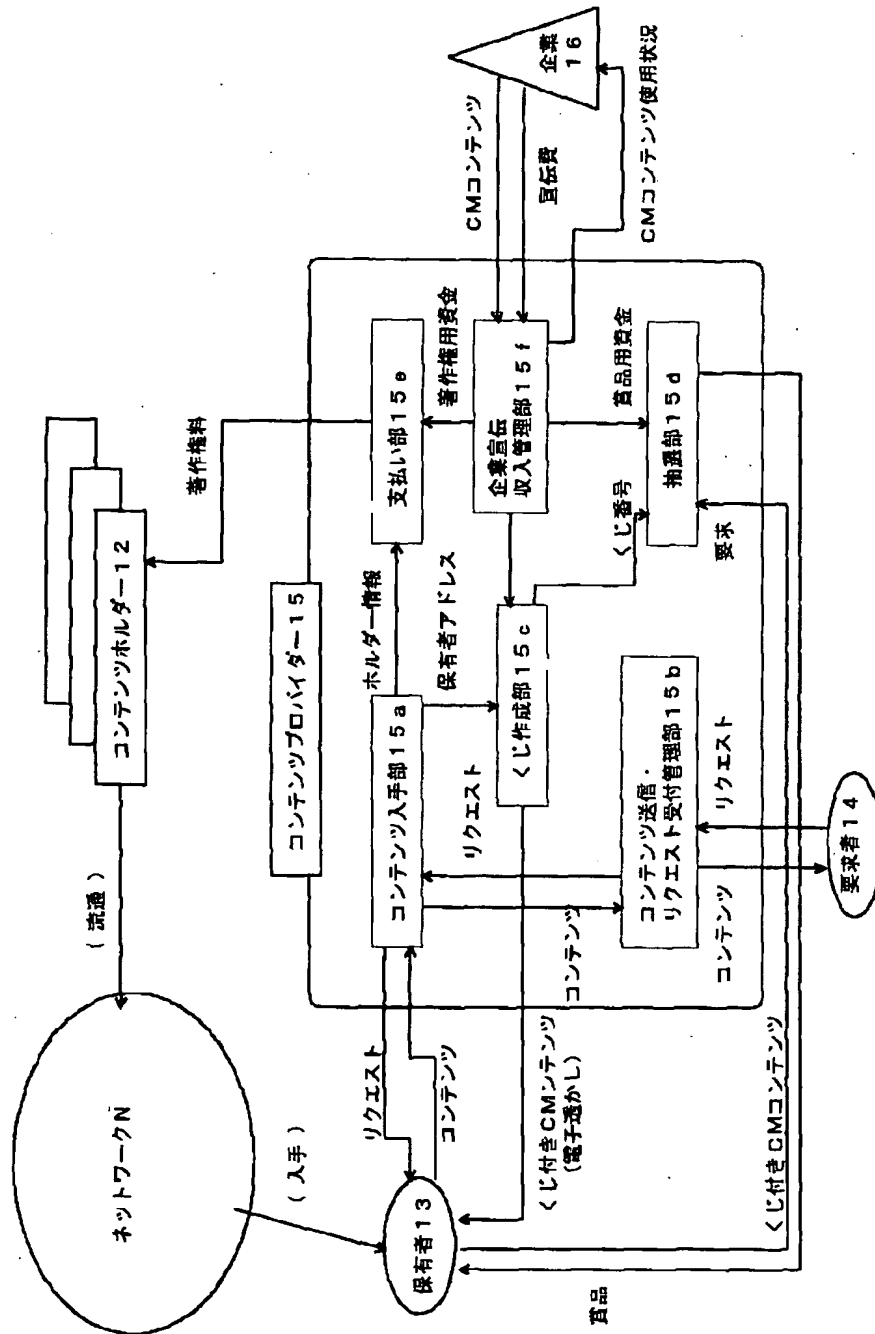


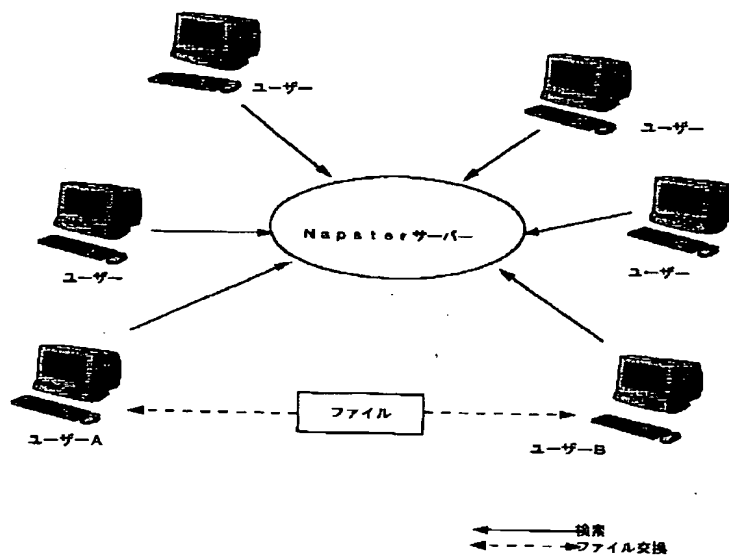
図 10 著作権者・権利者による権利行使のフローチャート

このフローチャートは、著作権者・権利者が権利行使を行う際の処理手順を示している。主要なステップと流れは以下の通りである。

- ステップ (104):** コンテンツ (著作権所有) の登録・入力。
- ステップ (105):** コンテンツS (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (106):** 公開 (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (107):** リクエスト (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (108):** コンテンツS (リクエスト) の登録・入力。
- ステップ (109):** コンテンツS (リクエスト) の登録・入力。
- ステップ (110):** くり作り (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (111):** くり作り CM コンテンツ (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (112):** 抽選 (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (113):** 抽選 (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (114):** 賞品 (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (115):** コンテンツS (登録・入力) の登録・入力。
- ステップ (116):** 著作権料 (登録・入力) の登録・入力。

フローチャートの流れは、登録・入力 (104) から始まり、公開 (106) を経て、リクエスト (107) とコンテンツS (108) の登録・入力が行われる。その後、くり作り (110) とくり作り CM コンテンツ (111) の登録・入力が行われ、抽選 (112) と抽選 (113) の登録・入力が行われる。最終的に、賞品 (114) と著作権料 (116) の登録・入力が行われる。

【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

G 0 6 F 17/60

G 0 6 T 1/00

H 0 4 N 1/387

識別記号

3 2 6

4 3 0

5 1 2

5 0 0

F I

G 0 6 F 17/60

G 0 6 T 1/00

H 0 4 N 1/387

テーマコード(参考)

3 2 6

4 3 0

5 1 2

5 0 0 B